

## アニメ効果を取り入れた低学年向け自作「情報モラル教材」

大阪府堺市立槇塚台小学校 臨時講師 立花 雪子

教材：<http://www2.odn.ne.jp/yuki-yuki/menu.html> mail：[hap29610@star.odn.ne.jp](mailto:hap29610@star.odn.ne.jp)

### 1、情報モラル教材作成までの過程

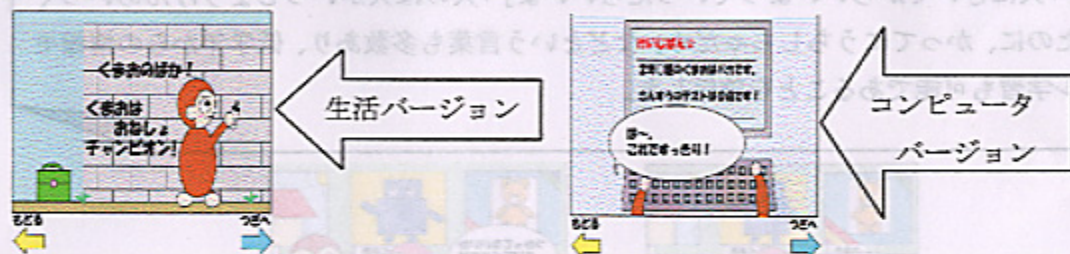
情報教育の実践が多数おこなわれている今、情報モラル学習は重要視するべき学習である。子どもたちを被害者にも加害者にもしてはならない。その情報モラル学習を、教師による一方的な学習ではなく、子どもたちが楽しく学習できるようにするにはどのような指導の方法が考えられるだろうか。



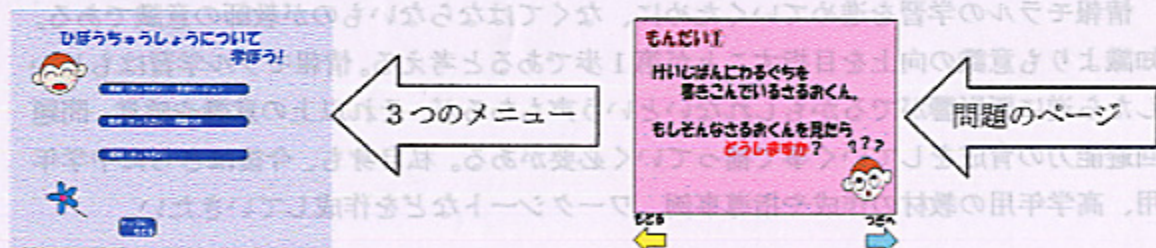
web上には様々な情報モラル学習の教材があげられている。アニメーション教材、マナー集、体験型教材などがある。しかし、これらの教材は低学年の子どもたちにはすこし難しいものばかりであった。家庭へのコンピュータ普及率も高くなった今、低学年からの情報モラル学習が必要である。そこで低学年用の教材を作成しようと考えた。

### 2、情報モラル教材のポイント

①コンピュータをあまり活用したことがない子どもたちにもわかりやすく学習でき、「名前がばれないから悪口を掲示板に書き込んでも大丈夫。」というような考えをなくすることができる教材を作りたいと考えた。そこで、情報モラルを身近な体験と重ね合わせて考えることができるように、生活バージョンとコンピュータバージョンを作成した。



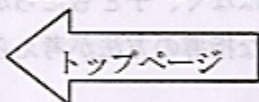
②教材をただ流して見て、完結的な教材になってしまわないようにしたいと考えた。そこで、その場その場で考えを深められるように、話の間に問題を入れた「問題つきバージョン」も作成した。



③子どもたちが親しみを持ち、楽しんで学習できるような教材にしたいと考え、Flash5でアニメーション形式にし、登場人物を動物達にした。



④項目としては、実践の中で最も発生しやすいと考えた問題を5つ取り上げた。(知的所有権、誹謗中傷、個人情報の漏洩、セキュリティ、有害情報)



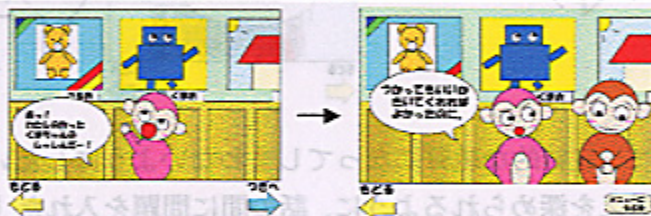
### 3、教材を活用した実践

作成した教材とワークシートを活用して、滋賀県大津市立瀬田小学校の2年2組で実践をおこなった。実践方法は、まずプロジェクターをつかって進め方を説明した後、子どもたち各自で教材(知的所有権の生活バージョンと問題つきバージョン)を進め、問題の解答や思ったことなどをワークシートに書き最後に発表するという形をとった。

《実践》「情報モラル(知的所有権)を学ぼう」

子どもたちの反応…

さるおくんがかわいいといってとても興味を持ってくれた。「もっと見たい!」という声もありうれしかった。知的所有権については、勝手にまねをするのではなく、許可をとることの大切さをわかってもらいたかった。2年生では少し難しいかと思っていたが、「人にきいてからいいよっていったらいいよ」「人の人は人がいっしょうけんめいつくったのに、かってにうちしちゃだめ」などという言葉も多数あり、低学年からの情報モラル学習も可能であることを確信した。



### 4、今後の情報モラル学習のあり方

情報モラルの学習を進めていくために、なくてはならないものが教師の意識である。知識よりも意識の向上を目指すことが第1歩であると考え。情報モラル学習はもしかしたら逆に悪影響がでるかもしれないという声もあるが、それ以上の意識や感覚、問題回避能力の育成をしていく事で補っていく必要がある。私自身も、今後はさらに中学年用、高学年用の教材の作成や指導事例、ワークシートなどを作成していきたい。